地域ボランティアプログラム①
松木日向緑地プログラム

「サル山水合戦」報告

2018/09/08

サル山水合戦

9月8日（土)、本学の敷地内にある小高い丘がある広場（通称：サル山）にて、近隣小学校の児童を対象とした「サル山水合戦」を開催しました。

「サル山水合戦」とは、松木日向緑地で採れた竹を用いて作った竹水鉄砲を使って行う的当てゲームです。昨年度、本プログラムの学生が中心となって企画し、今年で2回目の開催となりました。今年は、昨年度参加した愛宕小学校に加え、南大沢小学校、柏木小学校の子どもたちや保護者、教職員が参加しました。

～事前準備～

「サル山水合戦」の事前準備を9/１（土）に行いました。竹水鉄砲を作るためには、材料となる竹が必要です。その竹を協力団体であるひなた緑地遊学会の方々と一緒に、学生自らが伐採して、用意しました。プログラム参加1年目の学生にとっては、初めてとなる竹の伐採でしたが、2年目（サポーター）、3年目（リーダー）の学生とペアになり、伐採方法を1から学ぶことで、無事に1人1本ずつ竹を伐採することが出来ました。

この後、温室で竹を適当な長さに切ったり、やすりをかけたりして加工し、当日の材料の準備を終えました。

～サル山水合戦～

9/8（土）、サル山に、近隣の３つの小学校から子どもや保護者、教職員が約60名集まりました。

それぞれ、「南大沢小A」「南大沢小B」「柏木小D」「柏木小E」「愛宕小F」（※南大沢小Cは人数調整のため解体）の５チームに分かれます。各チームには1、2名ずつ学生が入り、竹水鉄砲作りから水合戦まで一緒に行いました。

・「竹水鉄砲」

まずは、竹水鉄砲作り。事前に準備していた材料を使い、水を押し出すピストンを作ります。細い竹の節にスポンジを巻き、布でしっかりと覆うことで、シリンダーとなる竹に入れた水を押し出すことが出来るようになります。少しでも緩いと水が自分の方へこぼれてきてしまうため、慎重に作らなければなりません。各チームでは、子どもたちが学生の手本をよく見たり、学生に手伝ってもらったりしながら真剣に水鉄砲を作っていました。早く作り終えた子は、我先にと水を吸い込み、試し打ちをして遊んでいました。

これで自分だけの「竹水鉄砲」が完成です！

・サル山水合戦

自分の水鉄砲を持って、いよいよ「サル山水合戦」へ出陣です。試合は、7分間で行われ、相手チームの的に水を当てたら勝ちです。また、各々が胸に付けた半紙（習字用の紙）に水が当たるとアウトとなり、その人はコートから出なければなりません。相手チーム全員がアウトになっても勝利となります。

開始と同時に一直線に相手の的を狙いに行くチームもあれば、自分のチームの的の周りに集まり、守りを固めるチームもあります。チームごとに戦略が違い、どの試合もヒートアップしていました。広いコートを縦横無尽に走り回る子どもたち、一瞬の隙をつく保護者の大人たち、子どもたちに囲まれ水をかけられる学生たち、参加したみんなが全力で楽しんでいました。普段は親子でも、試合中は対等な関係のチームメイトです。親子で一緒に喜びや悔しさといった感情を分かち合える良い機会となったことと思います。

全5チームの総当たり戦の後には、学校対抗戦も実施。暑い中でも子どもたちは最後まで走り回ってました。

全ての試合が終わった後は、本プログラムの代表学生が司会を務め、今日の「サル山水合戦」をみんなで振り返りました。

・参加者の感想

閉会式では、各小学校の代表の子どもや今回「サル山水合戦」を企画した学生から感想を聞きました。

以下がその一部です。

「工作が好きなので、水鉄砲作りが楽しかったです（小学生より）」

「店で売っている水鉄砲を使うのではなく、自然のもので水鉄砲が作れて楽しかったし、みんなが笑っている姿を見れて僕も嬉しくなりました（小学生より）」

「私も柏木小の卒業生として一緒に楽しませてもらいました！（柏木小出身の大学生より）」

水鉄砲の作り方を教える学生

開始と同時に一斉に走り出します

ビニールプールから水を補給し、狙います

必死に的を守ります